

令和 6 年 6 月 7 日現在

機関番号：24405

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2023

課題番号：17K10415

研究課題名（和文）MRIを用いたアミロイド検出・定量および脳温度測定：アルツハイマー病での臨床応用

研究課題名（英文）MRI-based amyloid detection and quantification and brain temperature measurement: clinical application in Alzheimer's disease

研究代表者

三木 幸雄 (Miki, Yukio)

大阪公立大学・大学院医学研究科・教授

研究者番号：80303824

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：アルツハイマー病は脳にアミロイドが沈着することにより発症すると考えられており、治療には、脳のアミロイド沈着を確認することが重要である。アミロイド沈着を検出する画像法はアミロイドPETだが、PET装置は広く普及していないなどの点から、日常診療にはあまり適していない。本研究では、広く普及しているMRIの位相差強調画像(phase difference enhanced imaging: PADRE)を用いてアミロイド沈着を検出できるかどうかを検討した。その結果、PADREとアミロイドPETとの相関に有意な相関を認め、PADREがアミロイドPETをある程度補完できる可能性が示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により、MRIにより脳のアミロイド沈着がある程度評価できることが明らかになった。アルツハイマー病の疾患修飾薬（抗アミロイド 抗体医薬）が本邦でも2023年に発売が開始されたが、この薬剤の治療開始前に脳のアミロイド沈着をアミロイドPETあるいは髄液検査で確認する必要がある。本研究により、広く普及し侵襲がないMRI検査により脳のアミロイド沈着が評価できる可能性が示されたことは、アルツハイマー病の治療・予防において非常に大きな社会的意義がある。

研究成果の概要（英文）：Alzheimer's disease is believed to be caused by amyloid deposition in the brain, and it is important to confirm amyloid deposition in the brain for treatment. The gold standard imaging modality to detect amyloid deposition is amyloid PET, but it is not well suited for daily practice due to the lack of widespread use of PET equipments. In this study, we investigated whether phase difference enhanced MR imaging (PADRE) can be useful to detect amyloid deposition. The results of this study showed a significant correlation between PADRE and amyloid PET, suggesting that PADRE may complement amyloid PET to some extent.

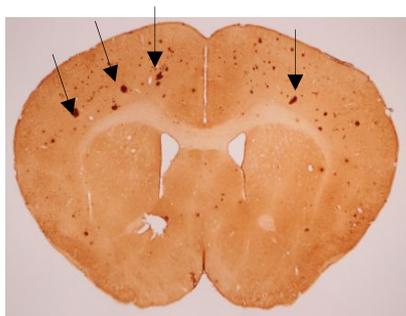
研究分野：放射線医学

キーワード：磁気共鳴画像 (MRI) アルツハイマー病 アミロイド 陽電子放出断層撮影 (PET) アミロイドPET 位相差強調画像 PADRE

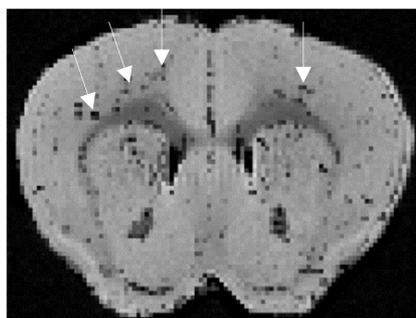
科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

アルツハイマー病は全認知症患者の半数以上を占める高頻度の疾患で、この疾患の予防・診断・治療は超高齢化社会にとって大きな社会要請である。アルツハイマー病は脳にアミロイドが沈着することにより発症すると考えられており、アルツハイマー病の診断および治療には、脳のアミロイド沈着を確認することが重要である。脳のアミロイド沈着を検出する **gold standard** の画像法はアミロイド **PET** だが、アミロイド **PET** は、**PET** 装置が導入されていない施設が多い点、アミロイド **PET** 用薬剤が高価である点、放射線被曝が発生する点などから使用が限られており、スクリーニングや日常診療には適さず、広くは普及していない。研究分担者の米田らはこれまでに、世界にさきがけて、**phase difference enhanced imaging (PADRE)**という進化形の位相差強調画像を開発し、動物実験で脳に沈着したアミロイドの描出に成功していた(図1)。



マウス脳(病理像)



マウス脳(PADRE 像)

図1

病理像で示されたアミロイド沈着所見(黒矢印)と **PADRE** 像所見(白矢印)との一致度は高い。

2. 研究の目的

PADRE による脳アミロイド沈着描出の感度・正確さについて、アミロイド **PET** と比較・検討し、有用性を検討する。

3. 研究の方法

アルツハイマー病患者 8 名および年齢をマッチさせた健常ボランティア 10 名を対象とし、高磁場 **MRI** 装置を用いて、**PADRE**・拡散強調画像を含めた脳 **MRI** およびアミロイド **PET** を撮像した。関心領域を楔部、楔前部、上前頭回、上側頭回に設定した。**PADRE** の関心領域における低信号域を定性的・半定量的に解析した。またアミロイド **PET** の関心領域における **standardized uptake value (SUV)** 比の平均値を計算した。各関心領域における、**PADRE** の定性的評価、**PADRE** の判定的評価、アミロイド **PET** の **SUV** 比の間の相関について **Spearman** の相関係数を計算した。

4. 研究成果

楔前部において **PADRE** の定性的評価とアミロイド **PET** の **SUV** 比の間に有意な相関を認めた(相関係数 = 0.5; P 値 = 0.034)。楔部において **PADRE** の半定量的評価とアミロイド **PET** の **SUV** 比の間に有意な相関を認めた(相関係数 = 0.55; P 値 = 0.02)。

PADRE はアミロイド **PET** の **SUV** 比を予測できる可能性があり、**AD** の診断における有用性が示唆された。

拡散強調画像で計測した脳温度とアミロイド **PET** の対比についても研究当初は行う予定であったが、当院のサイクロトロンが故障しアミロイド **PET** 撮像ができなくなった事情があり十分数のデータが入手できなかった。公開されているデータで解析した結果、脳温度とアミロイド **PET** 所見との間に統計学的に有意な関係はみられなかった。

これらの研究成果は下記の論文に発表した。

Takita H, Doishita S, Yoneda T, Tatekawa H, Abe T, Itoh Y, Horiuchi D, Tsukamoto T, Shimono T, Miki Y. Correlation between Phase-difference-enhanced MR Imaging and Amyloid Positron Emission Tomography: A Study on Alzheimer's Disease Patients and

Normal Controls. *Magn Reson Med Sci.* 2023; 22(1):67-78. doi: 10.2463/mrms.mp.2021-0123.

Matsushita S, Tatekawa H, Ueda D, Takita H, Horiuchi D, Tsukamoto T, Shimono T, Miki Y. The Association of Metabolic Brain MRI, Amyloid PET, and Clinical Factors: A Study of Alzheimer's Disease and Normal Controls from the Open Access Series of Imaging Studies Dataset. *J Magn Reson Imaging.* 2024;59(4):1341-8. doi: 10.1002/jmri.28892.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計112件（うち査読付論文 111件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 60件）

1. 著者名 松下 周、下野 太郎、三木 幸雄	4. 巻 38
2. 論文標題 特集1 鑑別診断に役立つ 臨床でたまに見かける希少症例の知識 胸部	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床画像	6. 最初と最後の頁 1274 ~ 1282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18885/CI.0000001083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 城後篤志, 山本 晃, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.	4. 巻 28
2. 論文標題 胃静脈瘤に対するGelatin sponge particles and 5% Ethanolamine oleate iopamidol mixture in Retrograde Transvenous Obliteration(GERTO)について.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本門脈圧亢進症学会雑誌	6. 最初と最後の頁 204-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄.	4. 巻 80巻増刊5
2. 論文標題 【免疫性神経疾患(第2版)-基礎・臨床の最新知見-】診療に役立つ免疫性中枢神経疾患の画像検査とその解釈.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本臨床	6. 最初と最後の頁 69-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 佐々木 扶実、下野 太郎、寺西 裕一、岡本 幸美、桑江 優子、大浦 達史、光山 容仁、三木 幸雄	4. 巻 67
2. 論文標題 症例 トルコ鞍部への進展を認めた乳頭腫合併扁平上皮癌の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1755 ~ 1758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000002201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大浦 達史、塚本 太朗、大戎 直人、桑江 優子、竹内 真規子、馬場 玲亜、大谷 暢之、三木 幸雄	4. 巻 67
2. 論文標題 症例 上肢に発生した骨化性線維粘液性腫瘍の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1103 ~ 1106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000002093	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小谷 賢太郎、下野 太郎、中条 公輔、田代 茜子、塚本 太朗、大森 文子、大植 智史、三木 幸雄	4. 巻 67
2. 論文標題 症例 中年の延髄に発生したdiffuse midline glioma,H3 K27-alteredの1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 713 ~ 717
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000002001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大森 文子、下野 太郎、内藤 堅太郎、小谷 賢太郎、茂木 祥子、大谷 暢之、大植 智史、三木 幸雄	4. 巻 67
2. 論文標題 症例 頸椎脊柱管内外に生じた間葉性軟骨肉腫の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1759 ~ 1763
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000002202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukamoto Taro, Miki Yukio	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 Imaging of pituitary tumors: an update with the 5th WHO Classifications?part 1. Pituitary neuroendocrine tumor (PitNET)/pituitary adenoma	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 PublishedOnline
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-023-01400-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto Kosuke, Takeda Akitoshi, Hatsuta Hiroyuki, Sano Terunori, Takao Masaki, Ohsawa Masahiko, Miki Yukio, Nakamichi Kazuo, Itoh Yoshiaki	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 An autopsy case of progressive multifocal leukoencephalopathy with massive iron deposition in juxtacortical lesions	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neuropathology	6. 最初と最後の頁 PublishedOnline
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/neup.12898	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asano Kazuo, Jogo Atsushi, Sakai Yukimasa, Yamamoto Akira, Yata Shinsaku, Kaminou Toshio, Okahashi Sami, Nakano Mariko, Nango Mineyoshi, Kageyama Ken, Sohgwawa Etsuji, Miki Yukio	4. 巻 18
2. 論文標題 Coil-assisted retrograde transvenous obliteration of gastric varices by an inverted catheter tip technique via the pericardiophrenic vein	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 200 ~ 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2022.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Pas Maciej, Jogo Atsushi, Yamamoto Akira, Nishida Norifumi, Jogo Eri, Kageyama Ken, Sohgwawa Etsuji, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 Successful treatment of rectal varices with antegrade transvenous sclerotherapy via the splenorenal shunt from the transjugular approach	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 4679 ~ 4684
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2022.08.096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Toshimasa, Ehara Shoichi, Walston Shannon L., Mitsuyama Yasuhito, Miki Yukio, Ueda Daiju	4. 巻 32
2. 論文標題 Artificial intelligence-based detection of atrial fibrillation from chest radiographs	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 European Radiology	6. 最初と最後の頁 5890 ~ 5897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00330-022-08752-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nota Takehito, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Yonezawa Hiroki, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Miki Yukio	4. 巻 18
2. 論文標題 Feasibility of gel-like radiopaque embolic material using gelatin sponge and contrast agent for tract embolization after percutaneous treatment	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0281384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0281384	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jogo Atsushi, Yamamoto Akira, Mukai Kaori, Kageyama Ken, Kaminou Toshio, Miki Yukio	4. 巻 Published Online
2. 論文標題 Transportal Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration for a Pancreatic Arteriovenous Malformation Using the Outflow Debranching Technique	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Vascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 PublishedOnline
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvir.2022.12.477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatekawa Hiroyuki, Matsushita Shu, Ueda Daiju, Takita Hirotaka, Horiuchi Daisuke, Atsukawa Natsuko, Morishita Yuka, Tsukamoto Taro, Shimono Taro, Miki Yukio	4. 巻 41
2. 論文標題 Improved reproducibility of diffusion tensor image analysis along the perivascular space (DTI-ALPS) index: an analysis of reorientation technique of the OASIS-3 dataset	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 393 ~ 400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-022-01370-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Walston Shannon L, Matsumoto Toshimasa, Miki Yukio, Ueda Daiju	4. 巻 95
2. 論文標題 Artificial intelligence-based model for COVID-19 prognosis incorporating chest radiographs and clinical data; a retrospective model development and validation study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The British Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 PublishedOnline
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1259/bjr.20220058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Izuta Shinichiro, Himoto Daisuke, Kakimi Akihiko, Kita Ryuichi, Miki Yukio	4. 巻 53
2. 論文標題 Identification of reversed portal flow on 4DCT and of factors contributing to reversed portal flow in patients with liver cirrhosis and portosystemic shunt before interventional radiology procedures	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 228 ~ 237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.13855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horiuchi Daisuke, Shimono Taro, Tatekawa Hiroyuki, Tsukamoto Taro, Takita Hirotaka, Okazaki Masahiro, Miki Yukio	4. 巻 64
2. 論文標題 Frequency and imaging features of the adjacent osseous changes of salivary gland carcinomas in the head and neck region	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroradiology	6. 最初と最後の頁 1869 ~ 1877
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00234-022-02972-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Kobayashi Sawako, Kageyama Ken, Takemura Shigekazu, Matsumoto Kazuhiro, Odagiri Naoshi, Jogo Atsushi, Kotani Kohei, Kozuka Ritsuzo, Motoyama Hiroyuki, Kawamura Etsushi, Hagihara Atsushi, Yamamoto Akira, Fujii Hideki, Tanaka Shogo, Enomoto Masaru, Tamori Akihiro, Miki Yukio, Kubo Shoji, Kawada Norifumi	4. 巻 6
2. 論文標題 Efficacy of rechallenge transcatheter arterial chemoembolization after lenvatinib treatment for advanced hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JGH Open	6. 最初と最後の頁 754 ~ 762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgh3.12819	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Toshimasa, Walston Shannon Leigh, Walston Michael, Kabata Daijiro, Miki Yukio, Shiba Masatsugu, Ueda Daiju	4. 巻 36
2. 論文標題 Deep Learning?Based Time-to-Death Prediction Model for COVID-19 Patients Using Clinical Data and Chest Radiographs	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Digital Imaging	6. 最初と最後の頁 178 ~ 188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10278-022-00691-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honjo Takashi, Ueda Daiju, Katayama Yutaka, Shimazaki Akitoshi, Jogo Atsushi, Kageyama Ken, Murai Kazuki, Tatekawa Hiroyuki, Fukumoto Shinya, Yamamoto Akira, Miki Yukio	4. 巻 154
2. 論文標題 Visual and quantitative evaluation of microcalcifications in mammograms with deep learning-based super-resolution	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 European Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 110433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejrad.2022.110433	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yonezawa Hiroki, Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Kageyama Ken, Walston Shannon Leigh, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Sohgwawa Etsuji, Jogo Atsushi, Kabata Daijiro, Miki Yukio	4. 巻 33
2. 論文標題 Maskless 2-Dimensional Digital Subtraction Angiography Generation Model for Abdominal Vasculature using Deep Learning	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Vascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 845 ~ 851.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvir.2022.03.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakaoka Takayoshi, Kaneko Ken-ichi, Irie Satsuki, Mawatari Aya, Igesaka Ami, Uetake Yuta, Ochiai Hidenori, Niwa Takashi, Yamano Emi, Wada Yasuhiro, Tanaka Masaaki, Kotani Kohei, Kawahata Hideki, Kawabe Joji, Miki Yukio, Doi Hisashi, Hosoya Takamitsu, Kazuya Maeda, Kusuvara Hiroyuki, Sugiyama Yuichi, Watanabe Yasuyoshi	4. 巻 44
2. 論文標題 Clinical evaluation of [18F]pitavastatin for quantitative analysis of hepatobiliary transporter activity	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Drug Metabolism and Pharmacokinetics	6. 最初と最後の頁 100449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.dmpk.2022.100449	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nota Takehito, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Kakehashi Anna, Yonezawa Hiroki, Jogo Atsushi, Sohgwawa Etsuji, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Miki Yukio	4. 巻 30
2. 論文標題 Safety and Feasibility of Contrast-Enhanced Computed Tomography with a Nanoparticle Contrast Agent for Evaluation of Diethylnitrosamine-Induced Liver Tumors in a Rat Model	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Academic Radiology	6. 最初と最後の頁 30 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.acra.2022.03.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Atsushi, Ueda Daiju, Higashiyama Shigeaki, Katayama Yutaka, Matsumoto Toshimasa, Yamanaga Takashi, Miki Yukio, Kawabe Joji	4. 巻 36
2. 論文標題 Deep learning-based detection of parathyroid adenoma by 99mTc-MIBI scintigraphy in patients with primary hyperparathyroidism	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine	6. 最初と最後の頁 468 ~ 478
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-022-01726-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Hagihara Atsushi, Fujii Hideki, Uchida-Kobayashi Sawako, Kawada Norifumi, Miki Yukio	4. 巻 61
2. 論文標題 The Albumin-bilirubin Score Detects Changes in the Liver Function during Treatment for Budd-Chiari Syndrome: A Retrospective Observational Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 959 ~ 967
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8020-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushima Hisakazu, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Nakano Mariko, Shimono Taro, Miki Yukio	4. 巻 2021
2. 論文標題 Observation of Intramural Fibroid Expulsion on MRI after Uterine Artery Embolization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Case Reports in Radiology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2021/7970894	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pas Maciej, Shimono Taro, Morisako Hiroki, Tsukamoto Taro, Kuramoto Reia, Horiuchi Daisuke, Tashiro Akane, Shigeki Shoko, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 Capillary hemangioma of the sphenoid sinus with intrasellar and parasellar extensions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 156 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2021.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Shu, Shimono Taro, Okuma Tomohisa, Inoue Takeshi, Manabe Takao, Miki Yukio	4. 巻 8
2. 論文標題 Clinical and magnetic resonance imaging feature differences between solitary and multiple type Langerhans cell histiocytosis involving the craniofacial bone	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e08741 ~ e08741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2022.e08741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimazaki Akitoshi, Ueda Daiju, Choppin Antoine, Yamamoto Akira, Honjo Takashi, Shimahara Yuki, Miki Yukio	4. 巻 12
2. 論文標題 Deep learning-based algorithm for lung cancer detection on chest radiographs using the segmentation method	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 727
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-04667-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Takashima Tsutomu, Onoda Naoyoshi, Noda Satoru, Kashiwagi Shinichiro, Morisaki Tamami, Honjo Takashi, Shimazaki Akitoshi, Miki Yukio	4. 巻 5
2. 論文標題 Training, Validation, and Test of Deep Learning Models for Classification of Receptor Expressions in Breast Cancers From Mammograms	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCO Precision Oncology	6. 最初と最後の頁 543 ~ 551
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/PO.20.00176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Shimazaki Akitoshi, Walston Shannon Leigh, Matsumoto Toshimasa, Izumi Nobuhiro, Tsukioka Takuma, Komatsu Hiroaki, Inoue Hidetoshi, Kabata Daijiro, Nishiyama Noritoshi, Miki Yukio	4. 巻 21
2. 論文標題 Artificial intelligence-supported lung cancer detection by multi-institutional readers with multi-vendor chest radiographs: a retrospective clinical validation study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 1120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-021-08847-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Hagihara Atsushi, Fujii Hideki, Uchida-Kobayashi Sawako, Kawada Norifumi, Miki Yukio	4. 巻 61
2. 論文標題 The Albumin-bilirubin Score Detects Changes in the Liver Function During Treatment for Budd-Chiari Syndrome: A Retrospective Observational Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 959-967
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8020-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukioka Takuma, Izumi Nobuhiro, Komatsu Hiroaki, Inoue Hidetoshi, Matsuda Yumi, Ito Ryuichi, Kimura Takuya, Miki Yukio, Nishiyama Noritoshi	4. 巻 52
2. 論文標題 Changes in pedicle pericardial fat tissue around the anastomotic site after tracheobronchoplasty	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Surgery Today	6. 最初と最後の頁 414 ~ 419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00595-021-02370-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oura Tatsushi, Shimono Taro, Pas Maciej, Takita Hirotaka, Horiuchi Daisuke, Mitsuyama Yasuhito, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 Orbital apex schwannoma with a high titer of proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibody	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 1120 ~ 1123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2022.01.047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujii Keisuke, Shimono Taro, Morisako Hiroki, Miki Yukio	4. 巻 63
2. 論文標題 Ectopic thyroid tissue at the skull base: a case report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuroradiology	6. 最初と最後の頁 1739 ~ 1742
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00234-021-02734-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Onoda Naoyoshi, Takashima Tsutomu, Noda Satoru, Kashiwagi Shinichiro, Morisaki Tamami, Fukumoto Shinya, Shiba Masatsugu, Morimura Mina, Shimono Taro, Kageyama Ken, Tatekawa Hiroyuki, Murai Kazuki, Honjo Takashi, Shimazaki Akitoshi, Kabata Daijiro, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 Development and validation of a deep learning model for detection of breast cancers in mammography from multi-institutional datasets	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0265751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0265751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yonezawa Hiroki, Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Kageyama Ken, Walston Shannon Leigh, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Sohgawa Etsuji, Jogo Atsushi, Kabata Daijiro, Miki Yukio	4. 巻 S1051-0443
2. 論文標題 Mask-less Two-dimensional Digital Subtraction Angiography Generation Model for Abdominal Vasculature using Deep Learning	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Vascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 00123-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvir.2022.03.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takita Hirotaka, Shimono Taro, Uda Takehiro, Ikota Hayato, Kawashima Toshiyuki, Horiuchi Daisuke, Terayama Eisaku, Tsukamoto Taro, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 Malignant transformation of a dysembryoplastic neuroepithelial tumor presenting with intraventricular hemorrhage	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 939 ~ 943
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2022.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Atsushi, Ueda Daiju, Higashiyama Shigeaki, Katayama Yutaka, Matsumoto Toshimasa, Yamanaga Takashi, Miki Yukio, Kawabe Joji	4. 巻 Online
2. 論文標題 Deep learning-based detection of parathyroid adenoma by 99mTc-MIBI scintigraphy in patients with primary hyperparathyroidism	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-022-01726-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takita Hiroataka, Doishita Satoshi, Yoneda Tetsuya, Tatekawa Hiroyuki, Abe Takato, Itoh Yoshiaki, Horiuchi Daisuke, Tsukamoto Taro, Shimono Taro, Miki Yukio	4. 巻 Online
2. 論文標題 Correlation between Phase-Difference-Enhanced MR Imaging and Amyloid Positron Emission Tomography: A Study on Alzheimer's Disease Patients and Normal Controls	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Magnetic Resonance in Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2463/mrms.mp.2021-0123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yonezawa Hiroki, Jogo Atsushi, Yamamoto Akira, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Nakano Mariko, Kageyama Ken, Hamamoto Shinichi, Sohgo Etsuji, Hamuro Masao, Kaminou Toshio, Miki Yukio	4. 巻 7
2. 論文標題 A case of venous aneurysm of a splenorenal shunt	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BJR case reports	6. 最初と最後の頁 20210011
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1259/bjrcr.20210011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 茂木 祥子、下野 太郎、佐々木 扶実、中条 公輔、塚本 太郎、皆見 勇人、田代 茜子、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 高齢者に発症した星芽腫の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 605 ~ 608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001630	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内 均、森本 真美、田中 里可子、植木 愛、市村 友季、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 二次性に卵巣広汎性浮腫を呈した胃癌卵巣転移の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 725 ~ 728
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001661	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 里可子、下野 太郎、寺山 英作、三野 俊和、武田 景敏、塚本 太郎、佐々木 扶実、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 両側錐体路に異常信号をきたした橋本脳症の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 707 ~ 711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永谷 春香、下野 太郎、鈴木 亨暢、大戎 直人、大浦 達史、大畑 麻衣、町田 優樹、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 神経根発生の滑膜肉腫の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1603 ~ 1607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉本 玲亜、竹内 真規子、大浦 達史、塚本 太郎、木村 健二郎、大澤 政彦、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 腸間膜原発神経内分泌癌の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 949 ~ 953
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001703	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田代 茜子、下野 太郎、光山 容仁、後藤 剛夫、田中 里可子、Maciej Pas、茂木 祥子、三木 幸雄	4. 巻 67
2. 論文標題 症例 錐体斜台部に発生したsolitary fibrous tumorの1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 293 ~ 297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001880	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Akira, Kawada Norifumi, Jogo Atsushi, Murai Kazuki, Kotani Kohei, Kageyama Ken, Hamamoto Shinichi, Sohgawa Etsuji, Uchida-Kobayashi Sawako, Enomoto Masaru, Tamori Akihiro, Miki Yukio	4. 巻 gutjnl-2020
2. 論文標題 Utility of minimally invasive measurement of hepatic venous pressure gradient via the peripheral antecubital vein	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gut	6. 最初と最後の頁 322367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/gutjnl-2020-322367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murai Kazuki, Hamamoto Shinichi, Okuma Tomohisa, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Ogawa Satoyuki, Nota Takehito, Sohgawa Etsuji, Jogo Atsushi, Miki Yukio	4. 巻 44
2. 論文標題 Survival Benefit of Radiofrequency Ablation with Intratumoral Cisplatin Administration in a Rabbit VX2 Lung Tumor Model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CardioVascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 475 ~ 481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00270-020-02686-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida-Kobayashi Sawako, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Ikenaga Hiroko, Yoshida Kanako, Kotani Kohei, Kimura Kenjiro, Odagiri Naoshi, Hagihara Atsushi, Fujii Hideki, Enomoto Masaru, Tamori Akihiro, Kubo Shoji, Miki Yukio, Kawada Norifumi	4. 巻 99
2. 論文標題 Lenvatinib-Induced Tumor-Related Hemorrhages in Patients with Large Hepatocellular Carcinomas	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Oncology	6. 最初と最後の頁 186-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000510911	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Katayama Yutaka, Yamamoto Akira, Ichinose Tsutomu, Arima Hironori, Watanabe Yusuke, Walston Shannon L., Tatekawa Hiroyuki, Takita Hirotaka, Honjo Takashi, Shimazaki Akitoshi, Kabata Daijiro, Ichida Takao, Goto Takeo, Miki Yukio	4. 巻 Online
2. 論文標題 Deep Learning?based Angiogram Generation Model for Cerebral Angiography without Misregistration Artifacts	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Radiology	6. 最初と最後の頁 203692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1148/radiol.2021203692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹内 均、下野 太郎、田北 大昂、宇田 武弘、中条 公輔、大浦 達史、田中 里可子、三木 幸雄	4. 巻 66
2. 論文標題 症例 脳室内出血をきたした側脳室内髄膜腫の1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 157 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001517	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Izuta Shinichiro, Himoto Daisuke, Kakimi Akihiko, Sohgwawa Etsuji, Miki Yukio	4. 巻 5
2. 論文標題 Visualization of flow dynamics in the portal circulation using 320-detector-row computed tomography: a feasibility study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Radiology Experimental	6. 最初と最後の頁 online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41747-020-00197-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Satoyuki, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Nakano Mariko M., Kageyama Ken, Sohgwawa Etsuji, Nishida Norifumi, Kaminou Toshio, Miki Yukio	4. 巻 5(1)
2. 論文標題 Splenic Vein Diameter is a Risk Factor for the Portal Venous System Thrombosis After Partial Splenic Artery Embolization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 CardioVascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00270-020-02751-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maeda Hiroyuki, Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Sohgwawa Etsuji, Matsushita Kazuki, Asano Kazuo, Yonezawa Hiroki, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Miki Yukio	4. 巻 3
2. 論文標題 Usefulness of coil-assisted retrograde transvenous obliteration II (CARTO-II) for the treatment of ascending colonic varix: a case report	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CVIR Endovascular	6. 最初と最後の頁 90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s42155-020-00187-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Takashima Tsutomu, Onoda Naoyoshi, Noda Satoru, Kashiwagi Shinichiro, Morisaki Tamami, Tsutsumi Shinichi, Honjo Takashi, Shimazaki Akitoshi, Goto Takuya, Miki Yukio	4. 巻 39
2. 論文標題 Visualizing "featureless" regions on mammograms classified as invasive ductal carcinomas by a deep learning algorithm: the promise of AI support in radiology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 333 ~ 340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-020-01070-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 MIKI Yukio	4. 巻 40
2. 論文標題 English Sentence Organization for Papers Related to Magnetic Resonance	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Magnetic Resonance in Medicine	6. 最初と最後の頁 129 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2463/jjmr.2020-1715	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takita Hirotaka, Shimono Taro, Manabe Takao, Kuki Ichiro, Amo Kiyoko, Togawa Masao, Miki Yukio	4. 巻 38
2. 論文標題 DWI scoring system for prognosis of acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 860 ~ 869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-020-00984-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木 扶実、下野 太郎、瀬戸 俊之、塚本 太郎、大浦 達史、岡橋 沙美、田中 里可子、三木 幸雄	4. 巻 65
2. 論文標題 症例 MRIで髄鞘化遅延所見を認めた7カ月男児の18番染色体長腕欠失症候群の1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1039 ~ 1044
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shindo Daisuke, Yamamoto Akira, Amano Ryosuke, Kimura Kenjiro, Yamazoe Sadaaki, Shimono Taro, Miki Yukio	4. 巻 38
2. 論文標題 The findings of the contrast-enhanced CT and risk factors for hepatic infarction after pancreatoduodenectomy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 547 ~ 552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-020-00934-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 光山 容仁、下野 太郎、塚本 太郎、松島 央和、後藤 剛夫、岡橋 沙美、佐々木 扶実、三木 幸雄	4. 巻 65
2. 論文標題 症例 頭蓋内外に複数の病変を認めたサルコイドーシスの1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 567 ~ 570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001259	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大浦 達史、下野 太郎、塚本 太郎、森迫 拓貴、桑江 優子、倉本 玲亜、竹内 均、三木 幸雄	4. 巻 65
2. 論文標題 症例 前頭蓋底発生脊索腫様髄膜腫の1例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 571 ~ 575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/rp.0000001260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三木 幸雄	4. 巻 72
2. 論文標題 特集 多発性硬化症の現在と未来 多発性硬化症のMRI-診断ツール、バイオマーカー、副作用モニタリングツールとしての役割	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BRAIN and NERVE	6. 最初と最後の頁 493 ~ 508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1416201553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 晃, 打田佐和子, 城後篤志, 影山 健, 寒川悦次, 植田大樹, 河田則文, 三木幸雄.	4. 巻 80(5)
2. 論文標題 【Post SVR時代の門脈圧亢進症】HCV SVR後の門脈圧亢進症診断 CTによる門脈圧亢進症の画像診断.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 肝・胆・膵	6. 最初と最後の頁 769-779
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jogo Atsushi, Yamamoto Akira, Kaminoh Toshio, Nakano Mariko, Kageyama Ken, Sohgwawa Etsuji, Hamamoto Shinichi, Sakai Yukimasa, Hamuro Masao, Nishida Norifumi, Miki Yukio	4. 巻 93
2. 論文標題 Utility of low-dose gelatin sponge particles and 5% ethanolamine oleate iopamidol mixture in retrograde transvenous obliteration (GERTO) for gastric varices	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The British Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 20190751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1259/bjr.20190751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Kageyama Ken, Sohgwawa Etsuji, Hamamoto Shinichi, Hamuro Masao, Kamino Toshio, Miki Yukio	4. 巻 43
2. 論文標題 Utility of Coil-Assisted Retrograde Transvenous Obliteration II (CARTO-II) for the Treatment of Gastric Varices	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CardioVascular and Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 565 ~ 571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00270-019-02399-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 羽室 雅夫, 山本 晃, 高尾 由範, 市田 隆雄, 三木 幸雄	4. 巻 34
2. 論文標題 シーメンス製TACE支援ソフトウェア (<l>syngo</l> Embolization Guidanceなど)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌	6. 最初と最後の頁 236 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11407/ivr.34.236	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miki Yukio	4. 巻 10
2. 論文標題 Magnetic resonance imaging diagnosis of demyelinating diseases: An update	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical and Experimental Neuroimmunology	6. 最初と最後の頁 32 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cen3.12501	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Mariko M., Yamamoto Akira, Nishida Norifumi, Hamuro Masao, Hamamoto Shinichi, Jogo Atsushi, Sohgawa Etsuji, Kageyama Ken, Minami Tetsuya, Miki Yukio	4. 巻 37
2. 論文標題 Risk factors for local recurrence of hepatocellular carcinoma after transcatheter arterial chemoembolization with drug-eluting beads (DEB-TACE)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 543 ~ 548
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-019-00840-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jogo Atsushi, Nishida Norifumi, Yamamoto Akira, Kageyama Ken, Nakano Mariko, Sohgawa Etsuji, Hamamoto Shinichi, Hamuro Masao, Miki Yukio	4. 巻 58
2. 論文標題 Selective Balloon-occluded Retrograde Transvenous Obliteration for Gastric Varices	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 2291 ~ 2297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.2356-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horiuchi Daisuke, Shimono Taro, Doishita Satoshi, Goto Takeo, Tanaka Sayaka, Miki Yukio	4. 巻 14
2. 論文標題 Ectopic clival craniopharyngioma with intratumoral hemorrhage: A case report	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 977 ~ 980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2019.05.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama Ken, Yamamoto Akira, Jogo Atsushi, Nota Takehito, Murai Kazuki, Ogawa Satoyuki, Nakano Mariko M., Sohgawa Etsuji, Hamamoto Shinichi, Hamuro Masao, Kaminou Toshio, Nishida Norifumi, Takahashi Kanae, Yamamoto Kouji, Miki Yukio	4. 巻 58
2. 論文標題 Usefulness of Venous Pressure Measurement in Endovascular Treatment of Budd-Chiari Syndrome: A Retrospective Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 2923 ~ 2929
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.2704-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto M, Koyama K, Ichimura T, Shimono T, Hashiguchi Y, Miki Y.	4. 巻 44
2. 論文標題 Comparison of MR imaging features of uterine neuroendocrine carcinoma and uterine malignant lymphoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Abdominal radiology (New York)	6. 最初と最後の頁 3377 ~ 3387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00261-019-02201-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Kazuki, Shimono Taro, Miki Yukio	4. 巻 19
2. 論文標題 Langerhans Cell Histiocytosis with Multiple Fluid/fluid Levels in the Parietal Bone	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Magnetic Resonance in Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 5 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2463/mrms.ci.2018-0152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa T, Tsutsumi S, Tada T, Mukumoto N, Makihara S, Tokunaga M, Tanaka N, Hasegawa K, Hosono M, Ishii K, Miki Y	4. 巻 65
2. 論文標題 Influence of Dose-volume Prescription in Three-dimensional Conformal Radiotherapy for Patients with Stage III Non-small-cell Lung Cancer.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Osaka city medical journal	6. 最初と最後の頁 77 ~ 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto A, Jogo A, Kageyama K, Sohgawa E, Hamamoto S, Hamuro M, Kamino T, Miki Y.	4. 巻 43
2. 論文標題 Utility of Coil-Assisted Retrograde Transvenous Obliteration II (CARTO-II) for the Treatment of Gastric Varices.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cardiovascular and interventional radiology	6. 最初と最後の頁 565 ~ 571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00270-019-02399-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jogo Atsushi, Yamamoto Akira, Kaminoh Toshio, Nakano Mariko, Kageyama Ken, Sohgawa Etsuji, Hamamoto Shinichi, Sakai Yukimasa, Hamuro Masao, Nishida Norifumi, Miki Yukio	4. 巻 93
2. 論文標題 Utility of low-dose gelatin sponge particles and 5% ethanolamine oleate iopamidol mixture in retrograde transvenous obliteration (GERTO) for gastric varices	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The British Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 20190751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1259/bjr.20190751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本 晃, 城後篤志, 影山 健, 濱本晋一, 寒川悦次, 中野真理子, 小川聡幸, 村井一超, 野田健仁, 米澤宏記, 三木幸雄.	4. 巻 33
2. 論文標題 生検(初中級) Transjugular liver access biopsy(TJLB)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌	6. 最初と最後の頁 398 ~ 401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林彰太郎, 小山孝一, 寺西裕一, 下野太郎, 横田知衣子, 藤井啓輔, 植木愛, 三木幸雄.	4. 巻 64
2. 論文標題 鼻腔内に発生した化膿性肉芽腫の3例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 853 ~ 858
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺山英作, 下野太郎, 立川裕之, 三野俊和, 桑江優子, 三木幸雄.	4. 巻 64
2. 論文標題 両側眼窩尖部から両側対称性に周囲進展をきたした腺様嚢胞癌の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 841 ~ 845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井啓輔, 植木 愛, 小山孝一, 小林彰太郎, 澁谷雅常, 永原 央, 下野太郎, 三木幸雄	4. 巻 64
2. 論文標題 動脈瘤型腸管悪性リンパ腫様のCT所見を呈した小腸GISTの2例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1173 ~ 1179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松下 周, 下野太郎, 三木幸雄.	4. 巻 64
2. 論文標題 乳様突起を中心として存在し骨硬化性変化を呈した腺様嚢胞癌の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1355 ~ 1359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 雪本真代, 下野太郎, 松下 周, 寺山英作, 山中一浩, 松下和樹, 後藤拓也, 三木幸雄.	4. 巻 64
2. 論文標題 内耳道内と髄膜病変を呈した中枢神経ゴム腫の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1351 ~ 1354
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松島央和, 下野太郎, 星野雅俊, 井上恵太, 桑江優子, 吉増有紗, 三木幸雄.	4. 巻 64
2. 論文標題 腰椎 joint apoplexyと考えられた脊髄硬膜外血腫の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 1559 ~ 1563
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄	4. 巻 35臨時増刊
2. 論文標題 頭部 脱髄 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患・急性散在性脳脊髄炎	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Practice	6. 最初と最後の頁 41-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾崎正典, 下野太郎, 濱崎考史, 立川裕之, 三木幸雄	4. 巻 63
2. 論文標題 小脳萎縮を伴ったGM1ガングリオシドーシス type 2の1例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 455-459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 米田昌平, 下野太郎, 藤田賢司, 立川裕之, 瀬戸俊之, 三木幸雄	4. 巻 63
2. 論文標題 Robinow症候群の2例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 833-838
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寒川悦次, 山本 晃, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 濱本晋一, 城後篤志, 三木幸雄	4. 巻 33
2. 論文標題 脾切除術後出血に対する止血術	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IVR: Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 243-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 晃, 天野良亮, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 濱本晋一, 城後篤志, 三木幸雄	4. 巻 33
2. 論文標題 脾癌術前の血流改変 特殊な症例、肝動脈合併脾頭十二指腸切除術前血流改変	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IVR: Interventional Radiology	6. 最初と最後の頁 236-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 寺山英作, 下野太郎, 杉本倫子, 月岡卓馬, 星 学, 田中秀典, 桑江優子, 三木幸雄	4. 巻 64
2. 論文標題 後縦隔悪性腫瘍との鑑別に苦慮した肋骨由来骨巨細胞腫の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 67-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阪井雄紀, 西山典利, 永野晃史, 泉 信博, 阪本晴菜, 松下 周, 清水重喜, 三木幸雄	4. 巻 64
2. 論文標題 肺癌との鑑別に苦慮した扁平上皮腺上皮混合型乳頭腫の1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床放射線	6. 最初と最後の頁 61-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatekawa Hiroyuki, Shimono Taro, Ohsawa Masahiko, Doishita Satoshi, Sakamoto Shinichi, Miki Yukio	4. 巻 36
2. 論文標題 Imaging features of benign mass lesions in the nasal cavity and paranasal sinuses according to the 2017 WHO classification	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 361 ~ 381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-018-0739-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueki Ai, Okuma Tomohisa, Hamamoto Shinichi, Kageyama Ken, Murai Kazuki, Miki Yukio	4. 巻 11
2. 論文標題 Combination therapy involving radiofrequency ablation and targeted chemotherapy with bevacizumab plus paclitaxel and cisplatin in a rabbit VX2 lung tumor model	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Research Notes	6. 最初と最後の頁 251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13104-018-3358-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatekawa H., Sakamoto S., Hori M., Kaichi Y., Kunimatsu A., Akazawa K., Miyasaka T., Oba H., Okubo T., Hasuo K., Yamada K., Taoka T., Doishita S., Shimono T., Miki Y.	4. 巻 39
2. 論文標題 Imaging Differences between Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders and Multiple Sclerosis: A Multi-Institutional Study in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Neuroradiology	6. 最初と最後の頁 1239 ~ 1247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3174/ajnr.A5663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita Naoko, Tanaka Shigeko, Sugimori Yuko, Nakahira Koichi, Ryoke Koji, Matsuoka Toshiyuki, Fujioka Masayuki, Miki Yukio	4. 巻 36
2. 論文標題 High contrast between lumbar nerve roots and surrounding structures using dual echo 3D turbo spin echo additional fusion images	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 472 ~ 476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-018-0751-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doishita Satoshi, Sakamoto Shinichi, Yoneda Tetsuya, Uda Takehiro, Tsukamoto Taro, Yamada Eiji, Yoneyama Masami, Kimura Daisuke, Katayama Yutaka, Tatekawa Hiroyuki, Shimono Taro, Ohata Kenji, Miki Yukio	4. 巻 9
2. 論文標題 Differentiation of Brain Metastases and Gliomas Based on Color Map of Phase Difference Enhanced Imaging	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2018.00788	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Y, Sugioka K, Iwata S, Sakamoto S, Ishikawa S, Takagi M, Miki Y, Yoshiyama M	4. 巻 64
2. 論文標題 Association between the Left Atrial Emptying Fraction and Silent Brain Infarction in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Osaka City Medical Journal	6. 最初と最後の頁 121-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Shu, Shimono Taro, Goto Takeo, Doishita Satoshi, Kuwae Yuko, Miki Yukio	4. 巻 14
2. 論文標題 Posterior fossa choroid plexus papilloma with focal ependymal differentiation in an adult patient: A case report and literature review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiology Case Reports	6. 最初と最後の頁 304 ~ 308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.radcr.2018.11.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Eiichiro, Kawabe Joji, Oishi Masahiro, Hosono Masako, Higashiyama Shigeaki, Teranishi Yuichi, Shiomi Susumu, Iguchi Hiroyoshi, Miki Yukio	4. 巻 61
2. 論文標題 Prognostic significance of pretreatment 18F fluorodeoxyglucose positron emission tomography evaluation using metabolic tumor volume of the primary tumor and lymph nodes in advanced hypopharyngeal cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Head & Neck	6. 最初と最後の頁 739-747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hed.25429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Yamamoto Akira, Nishimori Masataka, Shimono Taro, Doishita Satoshi, Shimazaki Akitoshi, Katayama Yutaka, Fukumoto Shinya, Choppin Antoine, Shimahara Yuki, Miki Yukio	4. 巻 290
2. 論文標題 Deep Learning for MR Angiography: Automated Detection of Cerebral Aneurysms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiology	6. 最初と最後の頁 187 ~ 194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1148/radiol.2018180901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Daiju, Shimazaki Akitoshi, Miki Yukio	4. 巻 37
2. 論文標題 Technical and clinical overview of deep learning in radiology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 15 ~ 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-018-0795-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Shigehiro, Shimono Taro, Takeshita Tohru, Yamamoto Akira, Shindo Daisuke, Miki Yukio	4. 巻 37
2. 論文標題 Clinical and CT findings of small bowel obstruction caused by rice cakes in comparison with bezoars	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 301 ~ 307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-019-00811-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueki Ai, Okuma Tomohisa, Hamamoto Shinichi, Miki Yukio	4. 巻 283
2. 論文標題 Therapeutic Effects of CT-guided Radiofrequency Ablation with Concurrent Platinum-Doublet Chemotherapy in a Rabbit VX2 Lung Tumor Model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Radiology	6. 最初と最後の頁 391 ~ 398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1148/radiol.2016160414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Koichi, Kubo Shoji, Ueki Ai, Shimono Taro, Takemura Shigekazu, Tanaka Shogo, Kinoshita Masahiko, Hamano Genya, Miki Yukio	4. 巻 35
2. 論文標題 MR imaging and MR cholangiopancreatography of cholangiocarcinoma developing in printing company workers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 233 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-017-0626-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Eiichiro, Matsushita Naoki, Tashiro Mari, Shimatani Yasuhiko, Ishii Kentaro, Hosono Masako, Oishi Masahiro, Teranishi Yuichi, Iguchi Hiroyoshi, Miki Yukio	4. 巻 137
2. 論文標題 Efficacy and toxicity profiles of two chemoradiotherapies for stage II laryngeal cancer ? a comparison between late course accelerated hyperfractionation (LCAHF) and conventional fractionation (CF)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Oto-Laryngologica	6. 最初と最後の頁 883 ~ 887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00016489.2017.1293295	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maruta Ubuka, Shimono Taro, Tokuhara Daisuke, Hanayama Yoshiko, Miki Yukio	4. 巻 38
2. 論文標題 Attenuated brain lesion on magnetic resonance imaging in an adult patient with methionine adenosyltransferase I/III deficiency	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 1131 ~ 1133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10072-017-2879-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Eiichiro, Kuratsukuri Katsuyuki, Ishii Kentaro, Tanaka Tomoaki, Ogino Ryo, Nishikawa Tomohiro, Morimoto Hideyuki, Hosono Masako, Miki Yukio	4. 巻 9
2. 論文標題 Correlations of post-implant regional dosimetric parameters at 24 hours and one month, with clinical results of low-dose-rate brachytherapy for localized prostate cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Contemp Brachytherapy	6. 最初と最後の頁 499 ~ 507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5114/jcb.2017.72547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto Hideyuki, Fujiwara Yushi, Lee Shigeru, Amano Kosuke, Hosono Masako, Miki Yukio, Osugi Harushi	4. 巻 36
2. 論文標題 Treatment results of neoadjuvant chemoradiotherapy followed by radical esophagectomy in patients with initially inoperable thoracic esophageal cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 23 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-017-0693-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doishita Satoshi, Shimono Taro, Yoneda Tetsuya, Yamada Eiji, Tsukamoto Taro, Takemori Daichi, Kimura Daisuke, Tatekawa Hiroyuki, Sakamoto Shinichi, Miki Yukio	4. 巻 17
2. 論文標題 In vitro Study of Serial Changes to Carmustine Wafers (Gliadel) with MR Imaging and Computed Tomography	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Magnetic Resonance in Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 58 ~ 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2463/mrms.mp.2017-0035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takita Hiroataka, Takeshita Tohru, Shimono Taro, Tanaka Hiroko, Iguchi Hiroyoshi, Hashimoto Shigeo, Kuwae Yuko, Ohsawa Masahiko, Miki Yukio	4. 巻 35
2. 論文標題 Cystic lesions of the parotid gland: radiologic-pathologic correlation according to the latest World Health Organization 2017 Classification of Head and Neck Tumours	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Radiology	6. 最初と最後の頁 629 ~ 647
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11604-017-0678-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Akira, Hamamoto Shinichi, Matsuoka Toshiyuki, Kageyama Ken, Jogo Atsushi, Sohigawa Etsuji, Okuma Tomohisa, Hamuro Masao, Toyoshima Masami, Kawabe Joji, Nagahara Hisashi, Miki Yukio	4. 巻 28
2. 論文標題 Spontaneous Regression of Untreated Tumors with Immuno-Radiofrequency Ablation, RF Ablation in Combination with Local Injection of OK-432, in a Patient with Lung Metastases of Colon Cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Vasc Interv Radiol	6. 最初と最後の頁 477 ~ 479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvir.2016.11.092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計174件（うち招待講演 21件/うち国際学会 30件）

1. 発表者名 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 宇都宮友輔, 伊藤久尊, 古田昭寛, 三木幸雄.
2. 発表標題 肝性脳症に対して複数の門脈大循環シャント経路の塞栓を試みた1例.
3. 学会等名 ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ozaki M, Jogo A, Yamamoto A, Kaminou T, Nishida N, Kita R, Mathusita K, Harada S, Asano K, Yonezawa H, Nota T, Murai K, Kageyama K, Sohgwawa E, Miki Y.
2. 発表標題 Endovascular treatment of duodenal varices : Retrospective evaluation of 13 case.
3. 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kita R, Yamamoto A, Jogo A, Ito H, Utsunomiya Y, Ookura R, Kin K, Maekura T, Furuta A, Kaminou T, Miki Y.
2. 発表標題 Improvement of liver function after intervention of portal circulation in portalhypertensions.
3. 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yonezawa H, Ueda D, Yamamoto A, Ozaki M, Okazaki M, Sakai Y, Nota T, Murai K, Ogawa S, Kageyama K, Sohgwawa E, Jogo A, Walston SL, Kabata D, Miki Y.
2. 発表標題 Mask-less DSA Generation Model for Abdominal Vasculature using Deep Learning.
3. 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Asano K, Kageyama K, Yamamoto A, Jogo A, Sohgawa E, Matsushita K, Harada S, Ozaki M, Yonezawa H, Nota T, Murai K, Miki Y.
2 . 発表標題 TACE for treatment-naive HCC had different treatment effects depending on tumor-location.
3 . 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Terayama E, Sohgawa E, Yamamoto A, Matsushita K, Okazaki M, Sakai Y, Ozaki M, Yonezawa H, Nota T, Murai K, Kageyama K, Jogo A, Mitsuyama Y, Oura T, Miki Y.
2 . 発表標題 Transcatheter arterial embolization for preoperative paraganglioma.
3 . 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Okazaki M, Yamamoto A, Jogo A, Sohgawa E, Kageyama K, Murai K, Nota T, Yonezawa H, Ozaki M, Sakai Y, Matsushita K, Terayama E, Kaminou T, Harada S, Miki Y.
2 . 発表標題 Endoscopic cauterization performed to remove a migrated coil following B-RT0: a case report.
3 . 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Murai K, Jogo A, Yamamoto A, Terayama E, Matsushita K, Ozaki M, Okazaki M, Sakai Y, Yonezawa H, Nota T, Kageyama K, Sohgawa E, Kita R, Kaminou T, Miki Y.
2 . 発表標題 Outcome of BRT0 without discontinuation of preoperative antithrombotic therapy.
3 . 学会等名 JSIR, ISIR & APSCVIR 2022 (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 下垂体腫瘍の画像診断: 新(第5版)WHO分類での変更点を含めて.
3. 学会等名 九州神経放射線研究会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 寒川悦次, 出田真一郎, 垣見明彦, 肥本大輔, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 門脈圧亢進症の治療 門脈圧亢進症に対するIVR領域での対処 肝性脳症を中心として.
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 下垂体腺腫のMRI診断: 新WHO分類での疾患名称・コード変更を含めて.
3. 学会等名 第50回日本磁気共鳴医学会大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 多発性硬化症の診断・治療 Update.
3. 学会等名 第50回日本磁気共鳴医学会大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 炎症性脱髄疾患のMRI：治療薬の進歩に伴う画像診断のアップデートを含めて.
3. 学会等名 第31回MRIアーベント（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 多発性硬化症の病態解析・治療モニタリングにおけるMRIの役割.
3. 学会等名 第40回日本神経治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsushita K, Kageyama K, Yamamoto A, Jogo A, Sohgwawa E, Kimura D, Torimasa T, Takemori D, Miki Y.
2. 発表標題 Usefulness of True-FISP Imaging for a Portosystemic Shunt Prior to Occlusion Procedure using IR Treatment.
3. 学会等名 The81st Annual Meeting of the Japan Radiological Society（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松下 周, 下野太郎, 大隈智尚, 井上 健, 真鍋隆夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 頭頸部骨病変を有するランゲルハンス細胞組織球症における単発群と多発群間での臨床的画像的差異に関する検討.
3. 学会等名 第51回頭頸部・胸部画像研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 茂木祥子, 塚本太郎, 本条 隆, 田代茜子, 三木幸雄, 森迫拓貴, 田中さやか.
2. 発表標題 右顎関節に発生した結節性偽痛風結節の1例.
3. 学会等名 第331回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 阪井雄紀, 山本 晃, 浅野数男, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 岡崎真大, 米澤宏記, 村井一超, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 左側門脈圧亢進症による胃静脈瘤に対して経皮経肝CARTO- が奏功した1例.
3. 学会等名 第71回関西INTERVENTIONAL RADIOLOGY研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀内大右, 下野太郎, 立川裕之, 塚本太郎, 田北大昂, 岡崎真大, 松下 周, 三木幸雄.
2. 発表標題 頭頸部領域の唾液腺癌における隣接する骨の変化の頻度や画像的特徴.
3. 学会等名 日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤井啓輔, 下野太郎, 森迫拓貴, 三木幸雄.
2. 発表標題 頭蓋底発生異所性甲状腺の一例.
3. 学会等名 日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本利雅, 植田大樹, ワルストン・シャノン, 三木幸雄.
2. 発表標題 胸部レントゲン写真からの心房細動などの検出.
3. 学会等名 第1回日本医用画像電子情報・人工知能研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浅野数男, 城後篤志, 堺 幸正, 山本 晃, 矢田晋作, 神納敏夫, 岡崎沙美, 中野真理子, 南郷峰善, 影山 健, 寒川悦次, 三木幸雄.
2. 発表標題 反転コイル法により心膜横隔静脈を介したCARTOを行った胃静脈瘤の一例.
3. 学会等名 第25回BRT0・TIPS研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 阪井雄紀, 山本 晃, 城後篤志, 浅野数男, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 岡崎真大, 米澤宏記, 村井一超, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 三木幸雄.
2. 発表標題 左側門脈圧亢進症による胃静脈瘤に対して経皮経肝CARTO-IIが奏功した1例.
3. 学会等名 第25回BRT0・TIPS研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 寺山英作, 城後篤志, 山本 晃, 岡崎真大, 阪井雄紀, 浅野数男, 松下和樹, 尾崎正典, 米澤宏記, 影山 健, 寒川悦次, 神納敏夫, 喜多竜一, 三木幸雄.
2. 発表標題 Budd-Chiari 症候群に対する開胸開腹下大静脈膜様狭窄切除術後狭窄に対して経皮的バルーン拡張術が著効した1例.
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 神納敏夫, 向井香織, 大浦達史, 寺山英作, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 三木幸雄.
2. 発表標題 臍動静脈奇形に伴う門脈圧亢進症に起因した食道静脈瘤破裂に対し動脈塞栓術と経皮経肝的 BRT0 を施行した1例.
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松下和樹, 山本 晃, 城後篤志, 寺山英作, 岡崎真大, 尾崎正典, 阪井雄紀, 米澤宏記, 村井一超, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 肝性脳症に対する単一経路の門脈体循環短絡の減流術(血流低下術)の有用性.
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 村井一超, 城後篤志, 浅野数男, 松下和樹, 尾崎正典, 阪井雄紀, 米澤宏記, 影山 健, 寒川悦次, 山本 晃, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 透析患者に対する BRT0 の治療成績.
3. 学会等名 第29回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大森文子, 塚本太郎, 堀内大右, 小谷賢太郎, 立川裕之, 三木幸雄.
2. 発表標題 耳下腺管に沿った進展が疑われた耳下腺粘表皮癌の一例
3. 学会等名 第333回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小谷賢太郎, 立川裕之, 大森文子, 塚本太郎, 三木幸雄, 松尾健志, 出口 亮, 溝端康光.
2. 発表標題 脂肪吸引後に肺脂肪塞栓症をきたした一例.
3. 学会等名 第333回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 影山 健, 尾崎正典, 山本 晃, 阪井雄紀, 城後篤志, 寒川悦次, 三木幸雄, 江口慎平, 木村健二郎, 西尾福英之
2. 発表標題 Patient-derived tumor xenograft liver rat modelによるInterventional radiology procedure を用いた抗癌剤効果判定試験の実用化にむけて.
3. 学会等名 第71回中部・第72回関西IVR研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 米澤宏記, 山本 晃, 大谷暢之, 光山容仁, 佐々木扶実, 大浦達史, 浅野数男, 松下和樹, 寺山英作, 岡崎真大, 阪井雄紀, 尾崎正典, 村井一超, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄, 喜多竜一.
2. 発表標題 Hirota's grade 5の胃静脈瘤に対して、大口径バルーンカテーテルを使用しB-RT0を施行した一例.
3. 学会等名 第71回中部・第72回関西IVR研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 立川裕之, 松下 周, 三木幸雄.
2. 発表標題 再構成技術を用いたALPS indexの再現性についての検証.
3. 学会等名 第52回日本神経放射線学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀内大右, 下野太郎, 田北大昂, 山本啓雅, 中嶋康博, 中舎洋輔, 井本和紀, 山田康一, 掛谷 弘, 三木幸雄.
2. 発表標題 COVID-19関連肺アスペルギルス症(COVID-19-associated pulmonary aspergillosis : CAPA)の2例.
3. 学会等名 第57回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 寺山英作, 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 寒川悦次, 原田翔平, 尾崎正典, 野田健仁, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 三木幸雄.
2. 発表標題 産道出血に対してNBCA (n-butyl-2-cyanoacrylate) を用いて止血を得た5例.
3. 学会等名 ion for perineal laceration: Report of 5 cases.) 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川聡幸, 山本 晃, 寒川悦次, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 右鎖骨下動脈瘤に対しViabahn を留置した1例.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米澤宏記, 寒川悦次, 山本 晃, 尾崎正典, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 外腸骨動脈腸管瘻に対して、Viabahn を留置した1例.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 寒川悦次, 山本 晃, 高橋真治, 鈴木享暢, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 静脈内逸脱した骨セメントを経皮的に回収した一例.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 村井一超, 影山 健, 山本 晃, 瀨本晋一, 城後篤志, 寒川悦次, 寺山英作, 原田翔平, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 小川聡幸, 三木幸雄.
2. 発表標題 CT ガイド下axial puncture 法で骨盤内膿瘍に経皮的ドレナージを施行した3例.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野田健仁, 影山 健, 山本 晃, 梯 アンナ, 尾崎正典, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 ラット肝腫瘍評価におけるナノ粒子造影剤 (ExiTron nano 12000) による造影CT の有用性.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 寺山英作, 尾崎正典, 原田翔平, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 静脈瘤に対する経皮経肝の静脈塞栓術について.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 光山容仁, 寒川悦次, 寺山英作, 阪井雄紀, 岡崎真大, 松下和樹, 原田翔平, 淺野数男, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健人, 村井一超, 影山健, 城後篤志, 山本 晃, 三木幸雄.
2. 発表標題 ステアリングマイクロカテーテルが有用であった乳児の外傷性肝損傷の1例.
3. 学会等名 第69回関西IVR研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本 晃, 河田則文, 城後篤志, 村井一超, 小谷晃平, 影山 健, 瀧本晋一, 寒川悦次, 打田佐和子, 榎本 大, 田守昭博, 三木幸雄.
2. 発表標題 門脈圧亢進症の病態解明～最新の知見と今後の展望～ 肘正中皮静脈を介した低侵襲的肝静脈圧較差測定の有用性について.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 寒川悦次, 萩原淳司, 藤井英樹, 打田佐和子, 河田則文, 西田典史, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 バッド・キアリ症候群の肝機能変化に対するALBIスコア評価の有用性.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田代茜子, 城後篤志, 山本 晃, 光山容仁, 寺山英作, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 寒川悦次, 影山 健, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 左胃動脈から供血される胃静脈瘤に対して左胃動脈塞栓術とBRT0を同時に施行した症例.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 松下和樹, 尾崎正典, 米澤宏記, 阪井雄紀, 岡崎真大, 原田翔平, 寒川悦次, 影山 健, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 食道静脈瘤に対するPTSについての検討.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 光山容仁, 影山 健, 新川寛二, 山本 晃, 城後篤志, 寒川悦次, 田中肖吾, 竹村茂一, 木村健二郎, 天野良亮, 久保正二, 三木幸雄.
2. 発表標題 アテゾリズマブおよびペバシズマブ併用療法後に出血を来たした肝細胞癌肋骨転移に対して塞栓術を施行した一例.
3. 学会等名 第70回関西IVR研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 村井一超, 影山 健, 山本 晃, 瀧本晋一, 城後篤志, 寒川悦次, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 岡崎真大, 阪井雄紀, 米澤宏記, 野田健仁, 三木幸雄.
2. 発表標題 ここまでできる!術後感染性合併症に対するIVR 骨盤内膿瘍に対するCT透視ガイド下axial puncture法によるドレナージ術.
3. 学会等名 第34回日本外科感染症学会総会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 脳血管イメージングにおけるAI 当施設での研究を中心に.
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 伊藤久尊, 古田昭寛, 三木幸雄.
2. 発表標題 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 伊藤久尊, 古田昭寛, 三木幸雄. 門脈圧亢進症に伴う性腺静脈瘤の塞栓による高アンモニア血症の改善と肝予備能の変化.
3. 学会等名 第50回日本IVR学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 坂本 梓, 米門秀行, 木村 達, 丸澤宏之, 三木幸雄.
2. 発表標題 肝性脳症に対して複数の門脈大循環シャント経路の塞栓を試みた1例.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 坂本 梓, 米門秀行, 木村 達, 丸澤宏之, 三木幸雄.
2. 発表標題 門脈圧亢進症に対するIVR治療～最新の知見と今後の展望～ 門脈圧亢進症症例における門脈血行動態変化による肝予備能の改善について当院での検討.
3. 学会等名 第28回日本門脈圧亢進症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 光山容仁, 寒川悦次, 山本 晃, 岡橋沙美, 寺山英作, 阪井雄紀, 岡崎真大, 松下和樹, 原田翔平, 浅野数男, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 影山 健, 城後篤志, 堺 幸正, 三木幸雄.
2. 発表標題 繰り返す大動脈腸骨動脈領域の閉塞病変に対してSG 留置後急性閉塞を来した一例.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 尾崎正典, 寒川悦次, 山本 晃, 岸本憲明, 森崎晃正, 光山容仁, 大浦達史, 寺山英作, 岡崎真大, 阪井雄紀, 淺野数男, 原田翔平, 松下和樹, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 偽腔増大傾向を呈する慢性大動脈解離に対してTEVAR および偽腔のプラグ塞栓を施行した一例.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 町田優樹, 寒川悦次, 山本 晃, 光山容仁, 大浦達史, 寺山英作, 松下和樹, 米澤宏記, 野田健仁, 尾崎正典, 岡崎真大, 阪井雄紀, 村井一超, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 ステントグラフト留置術が有効であった巨大腎動脈瘤の1例.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大浦達史, 寒川悦次, 山本 晃, 寺山英作, 阪井雄紀, 岡崎真大, 松下和樹, 原田翔平, 淺野数男, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 膝窩動脈領域の吻合部仮性瘤に対しVIABAHN を留置した一例.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米澤宏記, 寒川悦次, 山本 晃, 町田優樹, 光山容仁, 大浦達史, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 阪井雄紀, 岡崎真大, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 仮性肺動脈瘤に対して血管内塞栓術を行った2例.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 村井一超, 山本 晃, 中村健治, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 岡崎真大, 阪井雄紀, 米澤宏記, 野田健仁, 影山 健, 城後篤志, 寒川悦次, 三木幸雄.
2. 発表標題 Fresh Blood Imaging を用いた非造影MR Venography による下肢静脈瘤焼灼術前評価の有用性.
3. 学会等名 第62回日本脈管学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中里可子, 立川裕之, 塚本太朗, 山本祐輝, 大石賢弥, 三木幸雄.
2. 発表標題 小児と傍咽頭間隙から発生した脱分化型脂肪肉腫の1例.
3. 学会等名 第329回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 喜多竜一, 山本 晃, 城後篤志, 宇都宮友輔, 伊藤久尊, 古田昭寛, 三木幸雄.
2. 発表標題 肝性脳症に対して複数の門脈大循環シャント経路の塞栓を試みた1例.
3. 学会等名 第69回関西IVR研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大浦達史, 塚本太朗, 竹内真規子, 三木幸雄, 大戒直人, 桑江優子, 馬場玲亜
2. 発表標題 上肢に発生したossifying fibromyxoid tumorの1例.
3. 学会等名 第330回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大浦達史, 下野太郎, 堀内大右, 田北大昂, 三木幸雄.
2. 発表標題 PR3-ANCA高値を認めた眼窩尖部神経鞘腫の一例.
3. 学会等名 第51回日本神経放射線学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田北大昂, 土井下 怜, 米田哲也, 立川裕之, 安部貴人, 伊藤義彰, 堀内大右, 塚本太郎, 下野太郎, 三木幸雄.
2. 発表標題 位相差強調画像(PADRE)とアミロイドPETの相関に関する研究.
3. 学会等名 第51回日本神経放射線学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 米澤宏記, 寒川悦次, 山本 晃, 寺山英作, 松下和樹, 尾崎正典, 野田健人, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 腸骨動脈腸管瘻に対して、VIABAHNを留置した2例.
3. 学会等名 第27回日本血管内治療学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植田大樹, 田北大昂, 山本 晃, 下野太郎, 三木幸雄.
2. 発表標題 AIによるMRAからの脳動脈瘤検出とDSAのミスレジストレーションからの開放.
3. 学会等名 第50回日本神経放射線学会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 脱髄疾患のconventional MRI.
3. 学会等名 第50回日本神経放射線学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森本笑子, 下野太郎, 後藤剛夫, 野浦郁恵, 三木幸雄.
2. 発表標題 骨肥厚を伴い髄膜腫との鑑別に苦慮したolfactory neuroblastomaの1例.
3. 学会等名 第50回日本神経放射線学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀内大右, 下野太郎, 根来伸夫, 田北大昂, 三木幸雄.
2. 発表標題 自己抗体との関連が疑われた線条体農圃を生じた全身性エリテマトーデスの1例.
3. 学会等名 第50回日本神経放射線学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉本玲亜, 竹内真規子, 大浦達史, 塚本太朗, 三木幸雄, 木村健二郎, 大澤政彦.
2. 発表標題 腸間膜原発神経内分泌癌の1例.
3. 学会等名 第327回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹内 均, 森本真美, 田中里可子, 植木 愛, 三木幸雄, 市村友季.
2. 発表標題 2次性に卵巣広汎性浮腫を呈した胃癌卵巣転移の一例.
3. 学会等名 第56回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上奈穂子, 片山 豊, 東山滋明, 吉田敦史, 河邊讓治, 三木幸雄
2. 発表標題 PET/CT検査のCT画像に対するcompressed sensingによる再構成画像の検討
3. 学会等名 第60回日本核医学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本 晃, 城後篤志, 影山 健, 尾崎正典, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 寒川悦次, 三木幸雄
2. 発表標題 異所性静脈瘤に対するIVR
3. 学会等名 第56回日本医学放射線学会秋季臨床大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 英語論文における文章構成法.
3. 学会等名 第56回日本医学放射線学会秋季臨床大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木扶実, 城後篤志, 山本 晃, 影山 健, 寒川悦次, 小川聡幸, 村井一超, 野田健仁, 米澤宏記, 喜多竜一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 左側門脈圧亢進症に起因する胃静脈瘤に対してPTSを施行した1例.
3. 学会等名 第27回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 脱髄疾患のMRI: 最近の話題を含めて.
3. 学会等名 第55回兵庫県放射線医会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 米澤宏記, 寒川悦次, 山本 晃, 山根 心, 森崎晃正, 岡橋沙美, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 中野真理子, 堺幸正, 三木幸雄.
2. 発表標題 Total endovascular therapyで治療し得た慢性解離性大動脈瘤の1例.
3. 学会等名 第61回日本脈管学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡橋沙美, 寒川悦次, 山本 晃, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 腹腔動脈解離に伴った脾十二指腸動脈瘤の一例.
3. 学会等名 第61回日本脈管学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田健仁, 寒川悦次, 山本 晃, 岡橋沙美, 米澤宏記, 尾崎正典, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 桐谷ゆり子, 藤井弘通, 三木幸雄.
2. 発表標題 巨大後腹膜腫瘍に合併した腹部大動脈瘤に対してEVARを施行した一例.
3. 学会等名 第61回日本脈管学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 寒川悦次, 中野真理子, 山本 晃, 米澤宏記, 村上貴志, 岸本憲明, 高橋洋介, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 アクセス困難な弓部大動脈瘤に対してin situ fenestration法によるZone 0 TEVARを行った1例.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村井一超, 山本 晃, 原田翔平, 野田健仁, 井上恵太, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 城後篤志, 寒川悦次, 三木幸雄.
2. 発表標題 当院での肺腫瘍に対するCT ガイド下ラジオ波凝固療法の結果.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小川聡幸, 山本 晃, 原田翔平, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 部分的脾静脈塞栓後の門脈系血栓の最大脾静脈径を含めた危険因子の検討.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 米澤宏記, 山本 晃, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 趙 有季, 中野真理子, 影山 健, 瀧本晋一, 寒川悦次, 城後篤志, 徳原大介, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 当院でのFontan 術後患者に対する経静脈的肝生検 (TJLB) の有用性に関する後ろ向き検討.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 植田大樹, 山本 晃, 片山 豊, 島崎覚理, 本条 隆, 影山 健, 三木幸雄.
2. 発表標題 ディープラーニングによる頭部DSA 画像のミスレジストレーションアーチファクトからの開放.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中野真理子, 山本 晃, 影山 健, 城後篤志, 寒川悦次, 小川聡幸, 村井一超, 野田健仁, 米澤宏記, 原田翔平, 三木幸雄.
2. 発表標題 当院でのEpi-cTACE 不応肝細胞癌に対するIA-call/Lipiodol 懸濁液を用いた治療成績.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田健仁, 影山 健, 山本 晃, 瀧浦信成, 原田翔平, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 ウサギ腎穿刺後のトラクト塞栓におけるゲル状塞栓物質 (スポンゼル2 シートと造影剤3ml) の有用性の検討.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ueda D, Yamamoto A, Katayama Y, Shimazaki A, Honjo T, Kageyama K, Miki Y.
2. 発表標題 Deep learning for cerebral DSA to free from misregistration artifacts.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 原田翔平, 城後篤志, 山本 晃, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 喜多竜一, 西田典史, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 慢性肝外門脈閉塞症により生じた胃静脈瘤に対するB-RTO: 2例報告.
3. 学会等名 第49回日本IVR学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田北大昂, 下野太郎, 真鍋隆夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 後頭蓋窩の髄軟膜増強病変を伴ったSusac症候群の1例.
3. 学会等名 第49回日本神経放射線学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takita H, Shimono T, Manabe T, Miki Y.
2. 発表標題 DWI scoring system for prognosis of acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.
3. 学会等名 第79回日本医学放射線学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miki Yukio
2. 発表標題 Imaging Diagnosis of the Pituitary.
3. 学会等名 第78回日本医学放射線学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shimazaki A, Ueda D, Honjo T, Okamoto T, Yamamoto A, Nishiyama N, Izumi N, Tsukioka T, Shimahara Y, Miki Y
2. 発表標題 Deep Learning for Detecting Lung Cancers in Chest Radiographs.
3. 学会等名 第78回日本医学放射線学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Honjo T, Katayama Y, Ueda D, Shimazaki A, Yamamoto A, Miki Y
2. 発表標題 Evaluation of Calcifications in Mammograms Adopted Super Resolution via Deep Learning.
3. 学会等名 第78回日本医学放射線学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugimoto S, Shimono T, Takeshita T, Yamamoto A, Shindo D, Miki Y.
2. 発表標題 Clinical and CT Findings of Rice Cake-induced Small Bowel Obstruction in Comparison with Those of Bezoar-induced Small Bowel Obstruction.
3. 学会等名 第78回日本医学放射線学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片山 豊, 植田大樹, 島崎覚理, 本条 隆, 岸本建治, 市田隆雄, 三木幸雄.
2. 発表標題 マンモグラフィに対する超解像を用いた高解像度化.
3. 学会等名 第75回日本放射線技術学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川聡幸, 山本 晃, 野田健仁, 村井一超, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 瀧本晋一, 三木幸雄.
2. 発表標題 拳上空腸静脈瘤に対する静脈瘤塞栓術を主体としたIVRとその治療効果についての検討
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村井一超, 瀧本晋一, 山本 晃, 大隈智尚, 影山 健, 小川聡幸, 野田健仁, 中野真理子, 城後篤志, 寒川悦次, 三木幸雄.
2. 発表標題 ウサギVX2肺腫瘍モデルによる、RFAとシスプラチン局所投与の併用療法の有用性の評価.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 瀧本晋一, 三木幸雄.
2. 発表標題 経皮経肝アプローチ後のトラクト塞栓における塞栓物質(スポンゼル2シート造影剤3ml)の成績.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田健仁, 山本 晃, 大山嘉将, 浅野数男, 寺山英作, 松下和樹, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 瀧本晋一, 三木幸雄.
2. 発表標題 卵巣動脈瘤に対してNBCAを用いてTAEを施行した2例.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 米澤宏記, 城後篤志, 山本 晃, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 瀧本晋一, 寒川悦次, 羽室雅夫, 神納敏夫, 三木幸雄
2. 発表標題 脾腎シャント瘤の一例.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀧本晋一, 山本 晃, 村井一超, 野田健仁, 小川聡幸, 中野真理子, 浅野数男, 寺山英作, 米澤宏記, 影山 健, 寒川悦次, 城後篤志, 松岡利幸, 三木幸雄.
2. 発表標題 肺RFA時の疼痛に対する胸腔内リドカイン投与の有用性についての検討.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本 晃, 城後篤志, 羽室雅夫, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 バルーンカテーテルのオーバーナイト留置を行わない胃静脈瘤に対するBRT0 (CART0-II) の成績.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 米澤宏記, 村井一超, 野田健仁, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 羽室雅夫, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 ゼラチン細片と5%E01を混和して行ったB-RT0 (GERTO) についての検討.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 寒川悦次, 中野真理子, 野田健仁, 山根 心, 左近慶人, 藤井弘通, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 瀧本晋一, 山本 晃, 三木幸雄.
2. 発表標題 破裂大動脈瘤に対するEVAR時にSMA塞栓症をきたした1例.
3. 学会等名 第48回日本IVR学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野真理子, 寒川悦次, 影山 健, 森崎晃正, 山根 心, 小川聡幸, 山本 晃, 城後篤志, 村井一超, 野田健仁, 米澤宏記, 三木幸雄.
2. 発表標題 総腸骨動脈尿管瘻の1例.
3. 学会等名 第25回日本血管内治療学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 寺山英作, 城後篤志, 西田典史, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 胃静脈瘤に対して左肋間静脈アプローチでバルーン下逆行性経静脈的塞栓術(B-RT0)を施行した1例
3. 学会等名 第26回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 米澤宏記, 村井一超, 野田健仁, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀨本晋一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 新しい塞栓物質とデバイスの登場によるBRT0の新たな展開 セラチン細片と5%E01を混和して行ったB-RT0についての検討
3. 学会等名 第26回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田翔平, 影山 健, 城後篤志, 山本 晃, 小川聡幸, 寺山英作, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 井上恵太, 中野真理子, 寒川悦次, 瀨本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 胆管空腸吻合術後の拳上空腸静脈瘤出血および静脈瘤再発と再出血に対して複数回にわたるカテーテル的静脈瘤塞栓術が奏効した1例
3. 学会等名 第26回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 喜多竜一, 城後篤志, 山本 晃, 中西梨紗, 網野 遥, 滝本郁久, 坂本 梓, 米門秀行, 木村 達, 丸澤宏之, 三木幸雄
2. 発表標題 門亢症が生命予後に及ぼす影響～門亢症治療は予後を延長し得るか?～ 肝内門脈大循環シャントの塞栓術により高アンモニア血症が軽快した2症例
3. 学会等名 第26回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三木幸雄
2. 発表標題 スムーズかつ論理的に英文を繋げる方法、アクセプトされやすい画像を準備する方法.
3. 学会等名 第47回日本磁気共鳴医学会大会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田健仁, 寒川悦次, 寺山英作, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 城後篤志, 山本 晃, 三木幸雄, 森崎晃正.
2. 発表標題 弓部大動脈置換術(TAR)後に生じた左総頸動脈吻合部仮性動脈瘤と周囲膿瘍に対して頸動脈直接穿刺によりVIABAHNを留置し、経皮的縦隔ドレナージを行った1例
3. 学会等名 Nara Endovascular Experience and Technology symposium(NEXT2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田健仁, 寒川悦次, 中野真理子, 米澤宏記, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 瀨本晋一, 山本 晃, 岸本憲明, 山根 心, 森崎晃正, 柴田利彦, 三木幸雄.
2. 発表標題 慢性B型解離性大動脈瘤破裂に対してCandy plug法による偽腔閉鎖中に起こったトラブル症例.
3. 学会等名 第60回日本脈管学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野真理子, 寒川悦次, 山本 晃, 瀨本晋一, 城後篤志, 影山 健, 小川聡幸, 村井一超, 野田健仁, 井上恵太, 米澤宏記, 寺山英作, 高橋洋介, 森崎晃正, 山根 心, 村上貴志, 柴田利彦, 三木幸雄.
2. 発表標題 炎症性腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後に腰痛が改善した1例
3. 学会等名 第60回日本脈管学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡橋沙美, 寒川悦次, 中野真理子, 出田真一朗, 則政季代, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 瀨本晋一, 山本 晃, 三木幸雄.
2. 発表標題 IVR-CTを利用したIACTAによるPAD患者の下肢動脈末梢枝描出の初期経験.
3. 学会等名 第60回日本脈管学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤拓也, 植田大樹, 山本 晃, 本条 隆, 島崎覚理, 片山 豊, 三木幸雄.
2. 発表標題 ディープラーニングによるマンモグラフィからの浸潤性乳管癌の病理分類.
3. 学会等名 第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 雪本真代, 大隈智尚, 中野真理子, 寒川悦次, 下野太郎, 三木幸雄.
2. 発表標題 当院で経験した成人型動脈管憩室動脈瘤の7例.
3. 学会等名 第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松下 周, 下野太郎, 三木幸雄.
2. 発表標題 乳様突起を中心に発生し骨硬化性変化をきたした腺様嚢胞癌の1例
3. 学会等名 第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉増有紗, 塚本太郎, 下野太郎, 三木幸雄, 寺西裕一, 高野さくらこ, 田中さやか.
2. 発表標題 耳下腺腫瘍と鑑別が困難であった増殖性外毛根鞘性腫瘍の1例.
3. 学会等名 第323回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松島央和, 影山 健, 山本 晃, 原田翔平, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 城後篤志, 三木幸雄.
2. 発表標題 子宮筋層内筋腫に対するUAE後に筋腫分塊に至った一例.
3. 学会等名 第324回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakano MM, Sohgawa E, Yamamoto A, Jogo A, Hamamoto S, Kageyama K, Ogawa S, Murai K, Nota T, Sakai Y, Murakami T, Takahashi Y, Morisaki A, Shibata T, Miki Y.
2. 発表標題 Acute thoracic aortic diameter changes after TEVAR for blunt traumatic thoracic aortic injury.
3. 学会等名 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe (CIRSE2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nota T, Sohgawa E, Yamamoto A, Hamamoto S, Jogo A, Kageyama K, Nakano MM, Ogawa S, Murai K, Yonezawa H, Morisaki A, Yamane K, Kishimoto N, Shibata T, Miki Y.
2. 発表標題 "Modified" candy-plug device entrapment during TEVAR for false-lumen embolization in chronic type B aortic dissection rupture.
3. 学会等名 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe (CIRSE2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa S, Yamamoto A, Nota T, Murai K, Nakano MM, Kageyama K, Jogo A, Sohgawa E, Hamamoto S, Miki Y.
2. 発表標題 Jejunal variceal embolization with or without portal vein stent placement of jejunal variceal bleeding after hepatopancreatobiliary surgery.
3. 学会等名 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe (CIRSE2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shindo D, Yamamoto A, Shimono T, Amano R, Kimura K, Miki Y
2. 発表標題 Radiological Findings and Risk Factors of the Hepatic Infarctions after Pancreatoduodenectomy
3. 学会等名 第77回日本医学放射線学会総会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueda D, Yamamoto A, Shimono T, Tsutsumi S, Shimazaki A, Fukumoto S, Osaki H, Antoine C, Shimahara Y, Miki Y
2. 発表標題 Development and Validation of Deep Learning Algorithms for Detecting Cerebral Aneurysms in MRA
3. 学会等名 第77回日本医学放射線学会総会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ueda D, Yamamoto A, Shiba M, Fukumoto S, Noda S, Onoda N, Hashimoto Y, Inomata M, Tsutsumi S, Miki Y
2. 発表標題 Development and Validation of Deep Learning Algorithms for Diagnosing Breast Cancers in Mammograms
3. 学会等名 第77回日本医学放射線学会総会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田 健仁, 神道太輔, 小山孝一, 下野太郎, 橋口裕紀, 桑江優子, 三木幸雄
2. 発表標題 外陰部に発生したperivascular epithelioid cell tumor（PEComa）の1例
3. 学会等名 第32回日本腹部放射線学会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本倫子, 小山孝一, 下野太郎, 橋口裕紀, 市村友季, 桑江優子, 三木幸雄
2. 発表標題 子宮頸部神経内分泌癌の3例
3. 学会等名 第32回日本腹部放射線学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murai K, Nakamura K, Matsui H, Yamamoto A, Hamuro M, Miki Y
2. 発表標題 Endovenous Laser ablation for lower extremity varices. -Evaluation of treatment by MRV-
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hamuro M, Yamamoto A, Jogo A, Kaminou T, Sohgwawa E, Hamamoto S, Kageyam K, Nakano M, Ogawa S, Zako R, Murai K, Manaka T, Hirakawa Y, Ito Y, Miki Y
2. 発表標題 Initial experience of transcatheter arterial embolization using Imipenem for adhesive capsulitis
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sohgwawa E, Hamuro M, Sakai Y, Nakano M, Murai K, Ogawa S, Kageyama K, Jogo A, Hamamoto S, Yamamoto A, Morisaki A, Murakami Y, Miki Y, Shibata T
2. 発表標題 Preliminary experiences of segmental artery coil embolization to prevent spinal cord injury.
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jogo A, Hamuro M, Yamamoto A, Ogawa S, Nakano M, Kageyama K, Sohgawa E, Hamamoto S, Nishida N, Kaminou T, Miki Y
2. 発表標題 B-RT0 using 5% E01 mixing gelatin sponge particles for gastric varices
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hamamoto S, Hamuro M, Yamamoto A, Kageyama K, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Sohgawa E, Jogo A, Okuma T, Matsuoka T, Miki Y
2. 発表標題 Radiofrequency ablation to the pericardial lung tumor
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ogawa S, Yamamoto A, Nakano M, Kageyama K, Sohgawa E, Hamamoto S, Jogo A, Hamuro M, Miki Y
2. 発表標題 Feasibility of nodal lymphangiography to chylothorax, chylous ascites and lymphorrhea
3. 学会等名 第47回日本IVR学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakano M, Sohgawa E, Hamuro M, Kosaka H, Yamamoto A, Hamamoto S, Jogo A, Kageyama K, Ogawa S, Murai K, Murakami T, Morisaki A, Miki Y
2. 発表標題 Internal iliac artery embolization via the femoro-iliac collateral pathway for iliac artery aneurysm
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kageyama K, Hamuro M, Hamamoto S, Yamamoto A, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Sohgwawa E, Jogo A, Kaminou T, Miki Y
2. 発表標題 Usefulness of CT-guided drainage for abdominal, retroperitoneal and perineal abscesses
3. 学会等名 第47回日本IVR学会総会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 米澤宏記, 寒川悦次, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 瀧本晋一, 城後篤志, 山本 晃, 三木幸雄
2. 発表標題 痔瘻術後出血に対して肝動脈ステントグラフト留置と、門脈ステント留置を施工した一例
3. 学会等名 第65回関西IVR研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田裕之, 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 松下和樹, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 瀧本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 結腸静脈瘤にB-RT0を施行した2例
3. 学会等名 第25回日本門脈圧亢進症学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 尾崎正典, 野田健仁, 座古竜世, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 羽室雅夫, 神納敏夫, 三木幸雄
2. 発表標題 ストマ静脈瘤に対して経カテーテル的に治療しえた3例
3. 学会等名 第21回B-RT0研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 城後篤志, 山本 晃, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀨本晋一, 羽室雅夫, 神納敏夫, 三木幸雄
2. 発表標題 胃静脈瘤に対するB-RT0-保険収載まで、そしてこれから- 胃静脈瘤に対してゼラチン細片と5%E01を混和して行ったB-RT0についての検討
3. 学会等名 第21回B-RT0研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片山 豊, 植田大樹, 日浦慎作, 太田知里, 横井萌子, 岸本健治, 市田隆雄, 三木幸雄
2. 発表標題 デジタルマンモグラフィに対する超解像を用いたノイズ低減処理の提案
3. 学会等名 第46回日本放射線技術学会秋季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林彰太郎, 小山孝一, 寺西裕一, 下野太郎, 神田裕樹, 横田知衣子, 井口広義, 藤井啓輔, 植木 愛, 三木幸雄
2. 発表標題 鼻腔内に発生したpyogenic granulomaの3例
3. 学会等名 第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阪本晴菜, 大隈智尚, 土井下怜, 松下 周, 村井一超, 植木 愛, 瀨本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 うさぎVX2肺腫瘍モデルの作成のノウハウと生着率の検討
3. 学会等名 第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中野真理子, 寒川悦次, 村上貴志, 西村慎亮, 高橋洋介, 山本 晃, 城後篤志, 瀧本晋一, 影山 健, 小川聡幸, 村井一超, 野田健仁, 三木幸雄
2. 発表標題 解離性大動脈瘤に対する2-debranching TEVAR後に生じた症候性造影剤脳症の一例
3. 学会等名 第59回日本脈管学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 寒川悦次, 山本 晃, 中野真理子, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 瀧本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 様々なモダリティで評価した総腸骨動脈慢性完全閉塞の一例
3. 学会等名 第59回日本脈管学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松下 周, 下野太郎, 土井下 怜, 三木幸雄, 後藤剛夫, 桑江優子
2. 発表標題 成人女性の後頭蓋窩発生choroid plexus papilloma with focal ependymal differentiationの1例
3. 学会等名 第320回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤井啓輔, 植木 愛, 小山孝一, 小林彰太郎, 下野太郎, 三木幸雄, 澁谷雅常, 永原 央, 大平雅一
2. 発表標題 悪性リンパ腫に類似した小腸GISTの2例
3. 学会等名 第320回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 寺山英作, 村井一超, 米澤宏記, 野田健仁, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 瀨本晋一, 城後篤志, 寒川悦次, 山本 晃, 三木幸雄
2. 発表標題 両側冠動脈-肺動脈瘻に対してコイル塞栓術を施工した1例
3. 学会等名 第320回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土井下怜, 坂本真一, 米田哲也, 宇田武弘, 塚本太郎, 米山正巳, 立川裕之, 下野太郎, 大畑建治, 三木幸雄
2. 発表標題 カラー表示位相差強調画像 (PADRE) を用いた脳腫瘍評価
3. 学会等名 第48回日本神経放射線学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松下和樹, 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 前田裕之, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 瀨本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 肝細胞癌胆管腫瘍栓TACE後に腫瘍栓脱落によって閉塞性黄疸を来した1例
3. 学会等名 第66回関西Interventional Radiology研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 影山 健, 山本 晃, 城後篤志, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 瀨本晋一, 三木幸雄
2. 発表標題 経皮経肝の治療後のトラクト塞栓における塞栓物質 (スポンゼル2シート造影剤3cc) の効果の検討
3. 学会等名 第66回関西Interventional Radiology研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浅野数男, 寒川悦次, 中野真理子, 森崎晃正, 山根 心, 藤井弘通, 米澤宏記, 野田健仁, 村井一超, 小川聡幸, 影山 健, 城後篤志, 瀧本晋一, 山本 晃, 三木幸雄
2. 発表標題 外傷性胸部大動脈損傷に対して開窓TEVARを施工した1例
3. 学会等名 第66回関西Interventional Radiology研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hamamoto S, Yamamoto A, Hamuro M, Kageyama K, Matsuoka T, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Jogo A, Sohgawa E, Okuma T, Miki Y
2. 発表標題 Radiofrequency ablation(RFA) for lung tumor with artificial pneumothorax
3. 学会等名 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe (CIRSE2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yonezawa H, Sohgawa E, Yamamoto A, Hamuro M, Jogo A, Nota T, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Kageyama K, Hamamoto S, Miki Y
2. 発表標題 A case of stentgraft placement for hepatic artery pseudoaneurysm and portal vein stent placement for ectopic jejunal variceal rupture
3. 学会等名 Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology (APSCVIR2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Asano K, Sohgawa E, Yamamoto A, Nakano M, Hamuro M, Yonezawa H, Nota T, Murai K, Ogawa S, Kageyama K, Hamamoto S, Jogo A, Miki Y
2. 発表標題 Three cases of embolization for congenital renal arteriovenous fistulas with bidirectional approach
3. 学会等名 Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology (APSCVIR2019)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kageyama K, Maeda H, Yamamoto A, Jogo A, Yonezawa H, Nota T, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Sohgwawa E, Hamamoto S, Miki Y
2 . 発表標題 Two cases of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration (b-rto) for colonic varices
3 . 学会等名 Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology (APSCVIR2019) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hamamoto S, Yamamoto A, Kageyama K, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Nota T, Yonezawa H, Sohgwawa E, Jogo A, Miki Y
2 . 発表標題 Subpleural injection of lidocaine can relieve strong pain during rfa for lung tumors
3 . 学会等名 Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology (APSCVIR2019) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nota T, Yamamoto A, Jogo A, Yonezawa H, Murai K, Ogawa S, Nakano M, Kageyama K, Sohgwawa E, Hamamoto S, Miki Y
2 . 発表標題 Transcatheter arterial embolization with n-butyl-2-cyanoacrylate (nbca) glue for ovarian artery aneurysms in a postmenopausal woman
3 . 学会等名 Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology (APSCVIR2019) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Doishita S, Shimono T, Yoneda T, Yamada E, Rsukamoto T, Tatekawa H, Sakamoto S, Miki Y.
2 . 発表標題 Changes in Appearance of Carmustine (Gliadel) Wafers on MRI Over Time: A Phantom Study
3 . 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Hamuro M, Yamamoto A, Hamamoto S, Jogo A, Sohgawa E, Kageyama K, Nakano M, Kaminou T, Takao Y, Miki Y.
2. 発表標題 Usefulness of Parenchymal Blood Volume Imaging in TACE for HCC.
3. 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 脳を診る 最新の脳MRI診断 脱髄疾患・白質病変を中心に 脱髄疾患・加齢性白質病変.
3. 学会等名 第73回日本放射線技術学会総会学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島崎寛理, 羽室雅夫, 山本 晃, 城後篤志, 小川聡幸, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 Fontan術後の肝硬変に伴う胃静脈瘤に対しBRT0を施行した一例.
3. 学会等名 第316回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 尾崎正典, 羽室雅夫, 山本 晃, 城後篤志, 座古竜世, 中野真理子, 影山 健, 寒川悦次, 瀧本晋一, 小川聡幸, 村井一超, 神納敏夫, 三木幸雄.
2. 発表標題 ストマ静脈瘤に対し直接穿刺にて治療し得た1例.
3. 学会等名 第63回関西Interventional Radiology研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神道太輔, 小山孝一, 立花大和, 田中さやか, 小林亜衣, 下野太郎, 三木幸雄.
2. 発表標題 腎由来Cellular Schwannomaの1例.
3. 学会等名 第31回日本腹部放射線学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 PMLの画像診断.
3. 学会等名 The 4th MS Summer College (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 寒川悦次, 羽室雅夫, 中野真理子, 影山 健, 城後篤志, 瀧本晋一, 山本 晃, 三木幸雄.
2. 発表標題 臍液瘻に伴う術後出血に対するパイアバーンの初期使用経験.
3. 学会等名 第58回日本脈管学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中野真理子, 羽室雅夫, 寒川悦次, 堺 幸正, 南郷峰善, 山本 晃, 瀧本晋一, 城後篤志, 影山 健, 小川聡幸, 村井一超, 三木幸雄.
2. 発表標題 複数回の治療を要した解離性腹部大動脈瘤の一例.
3. 学会等名 第58回日本脈管学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野田健仁, 坂本真一, 下野太郎, 三木幸雄, 桑江優子, 後藤剛夫.
2. 発表標題 ラトケ嚢胞と頭蓋咽頭腫が混在したトルコ鞍部腫瘍の一例.
3. 学会等名 第317回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 脱髄疾患のMRI -最近の話題を含めて.
3. 学会等名 日本神経学会 第109回近畿地方会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 米田昌平, 羽室雅夫, 瀧本晋一, 山本 晃, 影山 健, 村井一超, 小川聡幸, 中野真理子, 寒川悦次, 城後篤志, 大隈智尚, 松岡利幸, 三木幸雄.
2. 発表標題 心臓近傍の肺腫瘍に対するRFAについて.
3. 学会等名 第318回日本医学放射線学会関西地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川聡幸, 羽室雅夫, 寒川悦次, 村井一超, 中野真理子, 影山 健, 城後篤志, 瀧本晋一, 山本 晃, 三木幸雄, 天野亮介.
2. 発表標題 開腹術中に生じた急性上腸間膜動脈血栓閉塞に対してフォガティースルーメンカテーテルにて血栓除去した1例.
3. 学会等名 第63回中部・第64回関西IVR合同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎真大, 羽室雅夫, 寒川悦次, 中野真理子, 山本 晃, 城後篤志, 瀧本晋一, 小川聡幸, 村井一超, 三木幸雄.
2. 発表標題 Isolated arteryの関与が疑われた転移性肝腫瘍破裂の1例.
3. 学会等名 第63回中部・第64回関西IVR合同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三木幸雄.
2. 発表標題 加齢性白質病変：最近の話題を含めて.
3. 学会等名 第43回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miki Y.
2. 発表標題 Role of MR in MS Diagnosis & Management.
3. 学会等名 International Society International Society for Magnetic Resonance in Medicine 25th Annual Meeting & Exhibition (ISMRM2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakano M, Sohgawa E, Hamuro M, Nango M, Jogo A, Hamamoto S, Yamamoto A, Miki Y.
2. 発表標題 Through-and-through wire technique for endovascular treatment with AVP in high-flow renal AVF: a case report.
3. 学会等名 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Eutope (CIRSE2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tatekawa H, Shimono T, Ohasawa M, Doishita S, Sakamoto S, Miki Y.
2. 発表標題 Imaging Features of Benign Mass Lesions in the Nasal Cavity and Paranasal Sinuses: An Update According to the Latest WHO Classification.
3. 学会等名 Radiological Society of North America, 103th Scientific Assembly and Annual Meeting (RSNA2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takita H, Takeshita T, Shimono T, Tanaka H, Iguchi H, Hashimoto S, Miki Y.
2. 発表標題 Cystic Lesions of the Parotid Gland: Radiologic-pathologic Correlation with Update of the Latest WHO 2017 Classification of Head and Neck Tumors.
3. 学会等名 Radiological Society of North America, 103th Scientific Assembly and Annual Meeting (RSNA2017)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計37件

1. 著者名 三木 幸雄、山田 恵	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 548
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断	

1. 著者名 田北大昂, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 脱髄疾患 視神経脊髄炎関連疾患 (症例L2-7).	

1. 著者名 井上恵太, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 脱髄疾患 急性散在性脳脊髄炎 (症例L2-18).	

1. 著者名 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 脱髄疾患 抗MOG抗体関連疾患 (症例L3-7).	

1. 著者名 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 脱髄疾患 tumefactive MS (症例L2-28).	

1. 著者名 竹内真規子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 脱髄疾患 浸透圧性脱髄症候群 (症例L2-36).	

1. 著者名 森本笑子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 てんかん 海馬硬化症 (症例L1-11).	

1. 著者名 森本笑子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 てんかん 異所性灰白質 (症例L1-21).	

1. 著者名 森本笑子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 てんかん 限局性皮質異形成 (症例L2-10).	

1. 著者名 森本笑子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 てんかん 多小脳回 (症例L2-21).	

1. 著者名 森本笑子, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 -
3. 書名 即戦力が身につく脳の画像診断 てんかん けいれん重責型急性脳症 (症例L3-10).	

1. 著者名 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 下垂体・傍鞍部の解剖と画像診断の役割.	

1. 著者名 阪中英里加, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 下垂体腺腫.	

1. 著者名 田北大昂, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 頭蓋咽頭腫	

1. 著者名 阪中英里加, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 421
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 ラトケ嚢胞.	

1. 著者名 田北大昂, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 リンパ球性下垂体炎.	

1. 著者名 諸岡 慧, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 423
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 Tolosa-Hunt症候群.	

1. 著者名 諸岡 慧, 塚本太郎, 三木幸雄.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 424
3. 書名 頭部画像診断の勘ドコロNEO 疾患編 10 下垂体・傍鞍部 海綿静脈洞の海綿状血管腫.	

1. 著者名 坂本真一, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 168
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】下垂体・傍鞍部 鞍上部くも膜嚢胞.	

1. 著者名 土井下怜, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 169
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】下垂体・傍鞍部 Empty sella (トルコ鞍空洞症).	

1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】下垂体・傍鞍部 下垂体細胞腫 / 顆粒細胞腫 / 紡錘形細胞オンコサイトーマ.	

1. 著者名 三木幸雄	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】脱髄 撮像法のポイントと読影の留意点.	

1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 よくわかる脳MRI (第4版)】脱髄 多発性硬化症 (1).	

1. 著者名 土井下怜, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 よくわかる脳MRI (第4版)】脱髄 多発性硬化症 (2) 腫瘍様にみえる脱髄疾患.	

1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】脱髄 視神経脊髄炎関連疾患.	

1. 著者名 土井下怜, 三木幸雄.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 -
3. 書名 【よくわかる脳MRI (第4版)】脱髄 抗MOG抗体関連疾患, 抗MOG抗体脳脊髄炎.	

1. 著者名 三木幸雄, 佐藤典子 編集.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 254
3. 書名 下垂体の画像診断	

1. 著者名 横田悠介, 伏見育崇, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 撮像方法 下垂体のMRI・CT撮像条件 -MRI-.	

1. 著者名 横田悠介, 伏見育崇, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 撮像方法 下垂体のMRI・CT撮像条件 -CT-.	

1. 著者名 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 正常像 -前葉-.	

1. 著者名 里上直衛, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 正常像 -下垂体柄-.	

1. 著者名 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 腫瘍性疾患 -下垂体腺腫-.	

1. 著者名 坂本真一, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 下垂体腺腫の出血・下垂体卒中.	

1. 著者名 坂本真一, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 頭蓋咽頭腫・ラトケ嚢胞.	

1. 著者名 立川裕之, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 下垂体細胞腫.	

1. 著者名 下野太郎.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 下垂体過形成と下垂体外疾患による下垂体腫大を呈する病態.	

1. 著者名 土井下 怜, 三木幸雄.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 -
3. 書名 下垂体の画像診断 下垂体膿瘍.	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	米田 哲也 (Yoneda Tetsuya) (20305022)	熊本大学・大学院生命科学研究部(保)・准教授 (17401)	
研究分担者	酒井 晃二 (Sakai Koji) (20379027)	京都府立医科大学・医学(系)研究科(研究院)・准教授 (24303)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	坂本 真一 (Sakamoto Shinichi) (40464648)	大阪公立大学・大学院医学研究科・研究員 (24405)	
研究分担者	河邊 讓治 (Kawabe Joji) (60295706)	大阪公立大学・大学院医学研究科・准教授 (24405)	
研究分担者	下野 太郎 (Shimono Taro) (70340817)	大阪公立大学・大学院医学研究科・准教授 (24405)	
研究分担者	嶋田 裕之 (Shimada Hiroyuki) (90254391)	大阪公立大学・大学院医学研究科・登録医 (24405)	
研究分担者	伊藤 義彰 (Ito Yoshiaki) (90265786)	大阪公立大学・大学院医学研究科・教授 (24405)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関